

市長と話そう会（武雄市商工会青年部）

日 時：令和7年3月6日（木）

18:00～20:00

場 所：武雄市役所 1階市民ホール

参加者：武雄市商工会青年部 30名



市民のみなさまと市長が直接語り合う「市長と話そう会」第36回は、「武雄市商工会青年部」のみなさまと、武雄市の子育て環境のことや山内中央公園プール、教育についてなど幅広く意見交換しました。以下抜粋して掲載します。

○武雄市の子育て環境について

（参加者）

- ・現在は市外に住んでいるため、商工会の活動に限界がある。武雄市に戻ってくることも考えているが、今住んでいる自治体は給食費や医療費が無償など、子育てに対する手当が充実しているため、武雄市に戻ってくることのメリットを感じていない。

（市長）

- ・金銭的な支援は小規模な自治体と比較すると難しい面があるが、こども図書館などの施設が充実していることや、どのような状況であっても子どもや家庭が孤立せずに成長できる環境を整えている。ただ、やはり金銭的な支援に比べるとインパクトが小さい印象を受けるかもしれないが、武雄市には最高の子育て環境が整っているということをいかに工夫して打ち出していくのかを今後考えていきたい。

○山内中央公園プールについて

（参加者）

- ・プールとしての利用以外に月1回のマルシェを行う場所として利用してみたりするなど、いつでも利用できるような屋根を付けてみてはどうか。

（市長）

- ・設計が進んでいる状況のため、これから屋根を付けることは難しいが、単にプールをするための場所ではなく、特に山内町民の子育てしている方々が1年中何かに活用できて、交流が深められるような場所になればと考えているので、マルシェはとてもいいアイデアだと思う。どういう形で一緒にやっていくかということを今後整理して相談させてほしい。

○部活動の地域移行について

(参加者)

- ・部活動の地域移行について、武雄市は現在どのような状況になっているのか。

(市長)

- ・教育委員会が行っていることなので詳しいところまでは言えないが、来年度から学校ごとにあ
る部活動の合同練習を月2回程度行う所から進めていくと聞いている。

○学校再編について

(参加者)

- ・各町にある小学校はコミュニティの場になると思うが、中学校は学校によっては生徒数が減っ
てきていると聞いている。今後新たに学校を作ったり、再編を行ったりする考えはあるか。

(市長)

- ・小学校がなくなると地域の灯が消えると考えている。小学校がなくなることによってその地域には子
育て世代は住まなくなってしまう。そのため、小学校はできるだけ残したいと考えている。一
方で西川登町などは生徒数が減ってきており、複式学級となっている学級もある状態が保護者
からみて大丈夫なのかという意見もある。やはり子どもにとって一番いいのは何かということ
を軸に考えていく必要があると考えている。中学校についての方向性は見えていない状況。少
人数のメリットとデメリットを考えて、これからどうしていけばいいのかを本格的に話し合っ
ていく時期に来ていると考えている。保護者としての立場の方もいらっしゃると思うので、こ
のような議論の場があれば、皆さんの意見をいただきたい。